

審議した主な議案

平成17年度一般会計予算と各特別会計予算について

本会議初日(2月22日)は、一般会計予算の提案説明後、議案の撤回を求める動議を可決し延会となりました。本会議2日目は、一般会計予算質疑終了後、予算特別委員会を設置し付託する動議が否決され、即決の動議が可決されました。その後、討論、採決を行い、賛成少数で一般会計予算は否決されました。また、国民健康保険事業特別会計予算、老人保健特別会計予算、介護保険事業特別会計予算、下水道事業特別会計予算、受託下水道事業特別会計予算、以上5つの特別会計予算について市長から撤回の申し出があり承認されました。

動議とは、主に会議の進行や手続について議員から出される提議で、議決を経るべきものことです。即決とは、委員会付託を省略して、ただちに本会議で採決することです。

平成17年度一般会計暫定予算と各特別会計暫定予算について

平成17年度一般会計予算が否決されたことに伴って、市長から本会議最終日(3月22日)に期間を平成17年4月・5月の2か月間とした暫定予算が提案され、即決で原案のとおり可決されました。また、国民健康保険事業特別会計予算、老人保健特別会計予算、介護保険事業特別会計予算、下水道事業特別会計予算、受託下水道事業特別会計予算も同様に、期間を2か月間とした暫定予算が提案され、即決で原案のとおり可決されました。

暫定予算とは、本予算(年間を通ずる予算)が、何らかの事情により成立しない場合に、一定期間における経費支出を可能にする予算です。なお、本予算成立後は、暫定予算の効力は失われ、すべて本予算に吸収されます。

以下の点で、積極的に市民要望にこたえる事業を盛り込んでおり高く評価する。

- ①安心と未来への取り組みでは、乳幼児医療費助成の拡充や平日準夜小児初期救急等医療事業の実施など、今、まさに求められている事業が盛り込まれ、学校教育の充実では施設の耐震補強等のほか学校図書の実施などが図られている。また、基本健康診査事業の拡充を初め保健事業の充実が図られている。

②安全と快適への取り組みであるが、都市基盤整備は長期的な視点にたつて継続的に取り組むとともに、コミュニティバス試行運行

一般会計予算に対する各会派の討論(要旨)

本予算は積極的な事業執行を予定しており、次世代育成支援の推進における乳幼児医療費助成の拡充やファミリー・サポート・センター事業実施は、我が会派が強く要望してきたものであり高く評価する。

小・中学校の大規模改造を含む耐震補強の実施等も教育環境の充実に向けた事業であり、今後も一層の安心、安全な学校づくりに意を尽くすよう強く要望する。健康福祉部門では、健康予防としての健診事業の充実へ積極的に取り組む市の姿勢を評価する。

都市基盤整備は、花小金井駅北口都市基盤整備事業

市民要望にこたえた予算を評価

政和会

賛成

と並行してより総合的な交通体系の検討が盛り込まれ防災・消防・防犯体制の充実、屋上緑化事業や校庭芝生化も計画されている。

③活力と創造への取り組みでは、商業者の自助努力等に効果的な支援、グリーンロードの活性化事業、小川町二丁目地区地域センターの建設、市民協働の推進、電子市役所の推進、第三次長期総合計画の策定等が盛り込まれている。地方交付税不交付団体の状況下でも、健全経営の努力がよくなされ市民要望に的確にこたえている。

以上を評価し、賛成討論とする。

市民が希望を持てる予算に期待

市議会公明党

賛成

などの実施、コミュニティバス試行運行と総合的な交通体系の検討のための新規予算が計上されており、新たな取り組みに期待する。

なお、大規模災害に対しては、市も計画的な備えに意を尽くすよう要望する。

産業活性化では、国が進める構造改革特区なども取り入れるなど一層積極的な取り組みを要望する。また、小川町二丁目地区地域センター・児童館の建設は市民要望の施設であり評価したい。

以上、市民に希望を持ってもらえる期待の大きい内容の予算となっていることを評価し、賛成討論とする。

①市長の4選に対する市民の審判は来る4月3日で、任期は4月10日までである。平成17年度は35分の10しか権限行使の期間がないにもかかわらず、通年予算を提案する政治姿勢を批判する。市長選挙は18万市民の生活がかかるといわれる選挙である。別政策を示し競い合う選挙である。別の市長が誕生したらどうするのかを常に考えながら行動すべきである。市長に専決する固有の権限は認めるが、行使する権限の裏腹に義務が果たせるものでなくてはならない。よって、地方自治法第218条第2項の規定により、結果的に暫定予算となる

新年度予算は、4月3日に市長選挙が行われるため暫定予算などにし、その後当選した市長が提案すべきという考えから予算の撤回動議に賛成した。この動議は可決されたが市長は予算の撤回には応じず、予算特別委員会を設置して審査する意味もないので委員会設置には反対した。ただ審議を拒否するのではなく、議案を混乱させるのでもない。行政の継続性を確保するためにこそ暫定予算という制度がある。国や都の補助金と継続性の関係で暫定予算などによる影響が話題となったが、不利益に

10日間の任期しかない現市長が1年間の予算を組むのではなく、ことは年度当初の暫定予算のみとし、新市長が本格予算に反対をの立場から予算の撤回動議に賛成し、動議は可決した。

本予算の反対理由は、①この議決は市政が各分野で今までにない深刻さ、切実さを内包していると感じている議会及び市民の意見、感想の反映として厳粛に受けとめるよう市長に求めたが、その姿勢が見られなかった。②予算内容が市民の生活、子育て、福祉などで十分にこたえたものでない。障害者センターふる場改

のほは当然の帰結である。

②予算について、会派への説明、全員協議会等の積み上げを無視するものとの発言もあるが、議会制民主主義の根幹の問題で市長の政治姿勢を批判しているのだから、昨日の議会では、私どもの真剣な主張が通り、公平、平等に民意が反映され風穴があいたと自負している。

③職員から暫定予算になると耐震補強工事等の事業ができなくなる、責任はどこのかという不穏当な言動を風聞し大変遺憾に思う。

以上を申し上げて、反対討論とする。

暫定予算になるのは当然の帰結

フォーラム小平

反対

ならぬ予算をつくるべきで、それではだめです。

国と自治体との関係が大きく変わり、分権自治への歩みを進めている自治体にとって、市民、行政、議員、さまざまな立場の人が議論し、創意工夫を凝らして自分たちの町をつくり上げる必要があり、住みやすい町、住み続けたい小平市を目指しているのはだれも同じである。

予算特別委員会で審査する方法もあつたが、予算が否決され暫定予算などを組むことを考えれば、本日、結論を出すべきと思ひ、反対討論とする。

新年度予算は新市長が提案を

緑・ネット

反対

修は評価するが、これに続き市民生活の困難打開に向けこの分野でも取り組むべきである。③市民参加の実を上げ、確立する点で本予算は消極的である。長期総合計画基本構想は、計画段階からの市民参加ではなく、次期市政で市民参加基本条例実施などを望む。④真の財政困難の原因を市民に明らかにし、解決に向け市民とともに奮闘する点での弱さがある。市民の安全、安心、活力確保には今回の予算はまだ遠い。市民参加、負担軽減などではおくれを残したままの予算であり、以上を指摘し反対討論とする。

市民負担の軽減にこたえる施策を

日本共産党小平市議団

反対

修は評価するが、これに続き市民生活の困難打開に向けこの分野でも取り組むべきである。③市民参加の実を上げ、確立する点で本予算は消極的である。長期総合計画基本構想は、計画段階からの市民参加ではなく、次期市政で市民参加基本条例実施などを望む。④真の財政困難の原因を市民に明らかにし、解決に向け市民とともに奮闘する点での弱さがある。市民の安全、安心、活力確保には今回の予算はまだ遠い。市民参加、負担軽減などではおくれを残したままの予算であり、以上を指摘し反対討論とする。

議 会 人 事

- 浅倉成樹議員(建設委員長)
- 小林秀雄議員
- 多摩北部都市広域行政圏協議会審議会委員
- 島村速雄議員
- 岩本博子議員
- 立花隆一議員
- 常松大介議員
- 島村速雄議員
- 西 克彦議員
- 小平市青少年問題協議会委員
- 財団法人小平市文化振興財団評議員
- 高橋信博議員
- 高橋信博議員
- 華表 暁議員
- 高橋信博議員(総務委員長)
- 住田景子議員(生活文教副委員長)
- 高橋信博議員(生活文教副委員長)

特別委員会中間報告

平成15年5月23日に設置以来8回にわたり、付議事項について調査、研究を行ってきました。前回の中間報告(平成16年2月24日)以降の経過は次のとおりです。

都市基盤整備調査特別委員会

- 委員 加藤 俊彦

- 第5回 平成16年6月22日 先進市視察
- 第6回 9月21日 市内視察
- 第7回 10月13日、15日 市内視察
- 第8回 平成17年1月20日 近隣先進市視察(武蔵野市・武蔵境駅北口地区第一種市街地再開発事業)
- 第9回 平成16年6月25日 市内視察
- 第10回 10月13日、15日 市内視察

産業活性化調査特別委員会

- 委員 永田 政弘

- 第5回 平成16年6月25日 市内視察
- 第6回 9月22日 近隣先進市視察(練馬区・農産物共同直売所及び体験農園)
- 第7回 10月13日、15日 市内視察
- 第8回 平成17年1月21日 農業振興の現状と課題について